

議員団ニュース

井出 節夫 82-2736
小林 松子 54-2215
内藤 祐子 62-8751

日本共産党佐久市議員団発行
二〇一三年一月 七七号
佐久市中込滑津
電話 六二一七三二四

十一月四日、日本共産党佐久市議員団は、二〇一四年度の市民要望の申し入れをしました。当日は市長が応対され(写真左)、井上尚総務部長が同席しました。

申し入れ書

佐久市政発展のための日頃のご尽力に感謝申し上げます。この間、私も申し入れました市民要望実現につきましてご尽力いただき感謝致しております。



とりわけ佐久地域の地域医療の要となる佐久総合病院佐久医療センターの建設、長年の市民要望であったひまわり保育園の社会福祉法人の認可など安心、安全のまちづくりが前進しています。

一方、合併特例措置の期間がまもなく終了を迎えるにあたり、次世代に負の遺産を残さないよう公共事業を厳選し、健全な財政運営が求められています。

柳田市政も2期目に入り、市長の公約である住みよい町日本一を目指しての公約の具体化をする機会だと考えます。市政執行に当たり、なによりも市民の目線に立ち、切実な市民要望を実現されますようにここに申し入れ致します。

要望事項

1、総務関連

(1) 消防施設・設備については、消防法を遵守し「佐久市消防施設等整備事業補助金要綱」を見直し、全額公費負担を

2、教育関連

(1) 学校が義務的に徴収する教材費の父母負担をなくし、公費での負担を
(2) 学校給食施設整備について
① 佐久城山小学校の給食調理室の早期改築を(自校方式の存続)
② 市内各給食センターの施設整備を

(3) 会館・会場を使用する際の減免適用団体を登録制にし、減免申請の簡略化の検討結果は

(4) 医師不足の解消、地域医療を守るため、近隣でも実施している医学生修学資金貸与制度の新設を
(5) 現行の奨学金制度を地元企業へ就職した際の免除制度の創設を

3、建設関連

(1) 市内公園等の公衆トイレをすべて冬季使用可能の設備にすること
(2) 平尾山公園の維持管理費及び市有施設の無償貸与については、市内の他の公園との整合性を考慮し、見直しを

4、経済関連

(1) 住宅リフォーム補助制度の補助対象の拡充を

(2) 佐久市の農業・医療等に深刻な影響を与えるTPPに参加しないよう、国に意見具申を

5、社会福祉

(1) 福祉医療について

① 国・県において窓口無料化を実施するよう意見具申を
② 障害者医療給付の所得制限をなくすこと
(2) 国民健康保険について
① 国保特別会計の基金を取り崩し、国民健康保険税は1世帯1万円の引き下げを

② 国保証の短期保険証・資格証明書の廃止を

(3) 介護保険料について、国の負担割合を増やすよう意見具申を
(4) 要介護3以上の介護者に対し、介護慰労金事業の復活を

(5) 重度心身障害者在宅サービスの一環としての空床利用型短期入所事業を市立病院である浅間総合病院で実施を

(6) 福祉的就労施設の新設を

(7) 子育て支援としての保育園
に対する支援策について

① 保育料は、同時入園の制限をなくし第2子は半額、第3子以上は無料に

② 佐久市保育所通園費補助金交付要綱を改め、通園距離に応じた支給を

(8) 難病患者等激励費の拡充と交通費の支給を

(9) 子どもの医療費は、早期に高校卒業まで無料化を

(10) 世界最高健康都市をめざす佐久市として、婦人がん検診は、隔年でなく毎年実施を

(11) 高齢者の給食サービスは該当する希望者全員に配食を

(12) 特別養護老人ホームの増設をし、入所待機者の解消を

(13) 生活保護が必要な人が漏れなく利用できるよう「福祉のしおり」に制度の紹介を掲載すること

6、民生・環境関連

(1) 同和対策事業は終結し、団体補助金は支部会計まで精査し、廃止を

(2) ごみ問題について

① ごみの減量化を全市の運動に

② 廃食油の資源化を佐久市として進める

③ 生ごみは焼却せず、飼料化、堆肥化、乾燥処理などにより減量化を

④ 埋立てごみは資源化を目指して分別の再検討を(乾電池、硬質プラスチック類など)

(3) 温水利用型健康運動施設は、地元還元施設にふさわしい施設に見直しを

福祉灯油の購入補助を申し入れ

日本共産党佐久市議員団では十一月十四日の市民要望の申し入れとあわせ、「福祉灯油の購入補助」を申し入れました。昨年は一月末の申し入れでしたが、2月に臨時市議会が開かれ、要望が実現しました。今年も厳しい寒さが予想され、引き続き補助が望まれています。